

平成29年度若手研究者ワークショップ(ブラジル) 実施報告書

平成 30 年 3 月 31 日

1. ワークショップ名

(和文) 持続発展可能な都市エネルギーシステムの構築—アジアとラテンアメリカの経験—(英文) Towards Sustainable Urban Energy Systems: Experiences from Asia and Latin Americaワークショップに関するウェブサイト http://www.ceac.iae.kyoto-u.ac.jp/JointWorkshop.html

2. ワークショップの目的

本ワークショップでは、アジアと中南米における都市エネルギー問題や都市環境問題について各地域の現場で研究を続けている日本とブラジルの若手研究者が一同に会し、持続発展可能かつしなやかな都市機能と都市環境保全について協議する場を供する。特に人々の生活を豊かに保つための低炭素都市エネルギーシステムと環境経済について多様な分野の研究者が意見交換をすることと、その成果が若手研究者によって新たな研究領域の創出および 2050 年シナリオの提言につながることに主眼を置く。

以上のような目的に沿って、経済学、経営管理学、商学、エネルギー科学、環境学、生態学など多様な分野の若手研究者を集め、それぞれの専門分野の立場から口頭発表と議論を行う。経験と将来性のある若手研究者を多分野から選ぶことで、都市エネルギー問題とひいては地球規模の気候変動への影響に関する異分野間の知識と専門技術が将来の長きにわたって相互移転されることを目指す。

3. 開催期間

平成 30 年 2 月 1 日 ~ 平成 30 年 2 月 3 日 3 日間

4. 開催地(会場)

京都大学 エネルギー理工学研究所

5. 開催体制

(1) 実施機関

日本側	独立行政法人日本学術振興会 (JSPS)
	京都大学 エネルギー理工学研究所
ブラジル側	サンパウロ州立研究財団 (FAPESP)
	ゲチュリオバルガス財団 (FGV)

(2) 開催責任者

1) 日本側

コーディネーター

所属機関・部局・職・氏名 京都大学・エネルギー理工学研究所・特定講師・ファルザネ フーマン

機関所在地 〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄 京都大学宇治キャンパス

TEL 0774-38-3429

FAX 0774-38-3426

Email hooman.farzaneh.2v@kyoto-u.ac.jp

事務担当者

部局・職・氏名 京都大学・宇治地区事務部研究協力課・掛長・有井秀幸

機関所在地 〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄

TEL 0774-38-3399

FAX 0774-38-3369

Email uji.josei@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

2) ブラジル側

コーディネーター

所属機関・部局・職・氏名 ゲチュリオバルガス財団・サンパウロ経営管理学校・教授・Jose Antonio Puppim de Oliveira

機関所在地 Rua Itapeva, 474 – 7º andar, São Paulo – SP, 01332-000, Brazil

TEL +55 11 3799-7842

FAX +55 11 3799-7842

Email jose.puppim@fgv.br

6. 参加者

(1) メンター

日本側

氏名	所属機関・部局	職名	専門
諏訪 亜紀	京都女子大学・現代社会学部	教授	環境影響評価・環境政策
大垣 英明	京都大学・エネルギー理工学研究所	教授	エネルギー科学・再生可能エネルギー実装

ブラジル側

氏名	所属機関・部局	職名	専門
José Carlos Barbieri	ゲチュリオバルガス財団 (FGV)・サンパウロ経営管理学校 (EAESP)	教授	社会実装
André Pereira de Carvalho	ゲチュリオバルガス財団 (FGV)・サンパウロ経営管理学校 (EAESP)	教授	社会環境マネジメント

(2) 参加者数

	メンター数	参加者数	その他 参加者数 ^[注]	合計
日本側参加者数	2	6	5	13
ブラジル側参加者数	2	2	3	7
その他の国からの参加者数	0	0	0	0
合計	4	8	8	20

[注]本事業で経費を負担しない参加者については、「その他参加者数」にてカウントしてください。

(3)参加者リスト 様式 3-1 及び 3-2 にて最終版を提出してください。

(4)参加者の選出方法

若手研究者はアジアと中南米における都市エネルギー問題や都市環境問題について各地域の現場で研究を続けている日本・ブラジル両国の若手研究者を対象とした。両国のコーディネーターとメンターでワークショップ開催委員会を設立し、共同で公募および審査を行った。主テーマと3つの副テーマに基づいて両国のメンターがペアを組み、履歴書、提案書を審査して、参加者を選抜した。審査は 1. 履歴書による参加資格の確認、2. 研究実績と将来性の審査、3. 提案書による能力評価 の3点で行った。

【選抜日程】

- 2017年8月下旬 公募
- 2017年12月中旬 申請〆切
- 2017年12月下旬 提案書の採択通知とフルペーパーの提出通知
- 2018年1月末 フルペーパー提出〆切
- 2018年2月1～3日 ワークショップ開催

【選抜基準】

1. 研究実績と研究テーマの持続的な都市エネルギーシステム構築および環境経済学との関連性
2. ワークショップ参加への積極性と期待できる議論への貢献度
3. 国際的なネットワーク構築力と長期にわたるネットワーク持続力
4. ネットワークの成果を研究領域の開拓と政策提言につなげられる発想と実行力

7. 委託事業の内容

(1)運営体制・方法について

日本・ブラジル両国のコーディネーターとメンターでワークショップ開催委員会を設立し、参加者公募と審査を委員会で、ワークショップ開催準備をコーディネーターと各所属部局で行った。

3日間のワークショップは各分野の専門家による講義と若手研究者の発表、演習で構成した。演習はコーディネーターが共同で製作した都市輸送セクターの低炭素エネルギーシナリオを定量評価するソフトウェア “Urban Co-benefits Evaluation Tool”を使って行った。

(2) 日程、議題(別添可)

日程と議題については別途、添付する。

8. 本事業で得られた成果

(1) 学術的な観点からの成果

本ワークショップでは、アジアと中南米における都市エネルギー問題や都市環境問題について各地域の現場で研究を行っている日本とブラジルの若手研究者とメンターが一同に会し、持続発展可能かつしなやかな都市機能と都市環境保全について協議し、且つ低炭素都市エネルギーシステムの促進についてのベストプラクティスを互いに探求した。両国の参加者はそれぞれの国で使用されるクリーン技術と新しい評価方法論を含む研究成果と方法論を共有した。議論で得られた知見や観点、アイデアは後日コーディネーターがまとめて公開する。

本ワークショップで提案した「持続発展可能な都市エネルギーシステム」は、気候変動への提言と他の開発影響も孕む地域環境問題の解決に貢献すると同時に、戦略政策の発展と実施についても言及しており、幅広い分野の参加者にアジアと中南米における低炭素都市エネルギーシステムの促進、デザイン構築、実施への効果的な方法を示すことができた。ワークショップ全体の成果は日伯両国の研究者で共有し、将来的な持続発展可能な都市エネルギーシステム研究につなげていく。議論で得られた知見や観点、アイデアは後日コーディネーターがまとめて Springer から、出版物として公開する。

(2) 国際交流及び若手研究者養成の観点からの成果

両国の若手研究者は3日間の講義と実習を通して、持続発展可能な都市エネルギーシステムに向けた重要政策シナリオの構築について学んだ。実習では両国コーディネーターが共同で製作した、都市輸送セクターの低炭素エネルギーシナリオの定量評価ソフトウェア“Urban Co-benefits Evaluation Tool”を用いた実務演習を行い、各々の戦略計画の進め方について学んだ。

本ワークショップは両国の若手研究者が研究者としてのキャリア形成の初期の段階で国際的に自分の研究活動を広げる契機となった。若手研究者らは会期中、メンター、コーディネーターをはじめとする参加者と積極的に交流しており、構築されたネットワークが持続発展可能な都市エネルギーシステムに関する新しい国際共同研究を生み出す土壌になると期待できる。

平成29年度若手研究者ワークショップ 参加者リスト

平成30年 4月 4日

ワークショップ名: 持続発展可能な都市エネルギーシステムの構築-アジアとラテンアメリカの経験-

1. 日本側参加者リスト

No	姓	名	所属機関・部局	職名	所属国名 ¹⁾	備考 ²⁾
No	Family Name	Name	Affiliation	Job Title	Country ¹⁾	Note ²⁾
1	ファルザネ	フーマン	京都大学エネルギー理工学研究所	特定講師	日本	*
1	Farzaneh	Hooman	Institute of Advanced Energy , Kyoto University	Junior Associate Professor	Japan	
2	大垣	英明	京都大学エネルギー理工学研究所	教授	日本	*
2	Ohgaki	Hideaki	Institute of Advanced Energy , Kyoto University	Professor	Japan	
3	諏訪	亜紀	京都女子大学	教授	日本	*
3	Suwa	Aki	Kyoto Women's University	Professor	Japan	
4	FLORES URUSHIMA	Andrea	京都大学	助教	日本	*
4	FLORES URUSHIMA	Andrea	Kyoto University	Assitant Professor	Japan	
5	Isabel	Franco	国連大学	ポスドク	日本	*
5	Isabel	Franco	The United Nations University	Postdoctoral Research Fellow	Japan	
6	Miguel	Esteban	東京大学	准教授	日本	*
6	Miguel	Esteban	The University of Tokyo	Associate Professor	Japan	
7	小田	潤一郎	地球環境産業技術研究機構 (RITE)	主任研究員	日本	*
7	Oda	Junichiro	Research Institute of Innovative Technology for the Earth (RITE)	Senior Researcher	Japan	
8	亀井	未穂	地球環境戦略研究機関 (IGES)	研究員	日本	*
8	Kamei	Miho	Institute for Global Environmental Strategies (IGES)	Researcher	Japan	
9	Ai	Leon	京都大学	ポスドク	日本	*
9	Ai	Leon	Kyoto University	Postdoctoral Research Fellow	Japan	
10	Ranaporn	Tantiwechwuttikul	東京大学	博士課程学生	日本	
10	Ranaporn	Tantiwechwuttikul	The University of Tokyo	Doctoral Student	Japan	
11	Nigora	Djalilova	東京大学	博士課程学生	日本	
11	Nigora	Djalilova	The University of Tokyo	Doctoral Student	Japan	
12	JUNQUEIRA BOTELHO	ANTONIO JOSE	京都大学エネルギー理工学研究所	客員教授	日本	
12	JUNQUEIRA BOTELHO	ANTONIO JOSE	Institute of Advanced Energy , Kyoto University	Visiting Professor	Japan	
13	石原	慶一	京都大学エネルギー科学研究科	教授	日本	
13	Ishihara	Keiichi	Graduate school of Energy Science , Kyoto University	Visiting Professor	Japan	
14	McLellan	Benjamin	京都大学エネルギー科学研究科	准教授	日本	
14	McLellan	Benjamin	Graduate school of Energy Science , Kyoto University	Associate Professor	Japan	

1) 参加者が所属する機関の所在国を記入してください

2) 本ワークショップ経費にて参加される方については、備考欄に「*」を記入してください。

List of Participants for JSPS-FAPESP Joint Research Workshop 2017

Date: Apr 4, 2018

Workshop Title: Towards Sustainable Urban Energy Systems: Experiences from Asia and Latin America

2. List of participants on the Brazilian side

No	Family Name	Name	Affiliation	Job Title	Country ¹⁾	Note ²⁾
1	Puppim de Oliveira	Jose Antonio	Fundacao Getulio Vargas	Professor	Brazil	*
2	Pereira de Carvalho	Andre	Fundacao Getulio Vargas	Professor	Brazil	*
3	Barbieri	José Carlos	Fundacao Getulio Vargas	Professor	Brazil	*
4	DE Magalhaes	Matheus Albergari	Fundacao Escola de Comercio Alvares	Assistant Professor	Brazil	*
5	Barbosa	Bruno	University of Sao Paulo	Postdoctoral researcher	Brazil	*
6	De Souza Noel Simas Barbosa	Larissa	University of Sao Paulo	Doctoral Student	Brazil	
7	De Paulo	Alex Fabianne	University of Sao Paulo	Doctoral Student	Brazil	
8	Mumtaz	Muhammad	Fundacao Getulio Vargas	Doctoral Student	Brazil	

¹⁾ Please write a country of affiliated institution.

²⁾ Please put "*" in this section when FAPESP/JSPS pays his/her expenses.

	A	B	C	D	E
Organization of the workshop					
The time allotted to each part of the program was appropriate	6	4			
The lecture and laboratory components were effectively linked	6	2	2		
The size of the classes was optimal	6	3	1		
Lectures					
Sufficient time was allocated for the lectures	7	4			
The lectures were useful in my research (interesting, stimulating and practical)	8	2			
The level of the lectures relative to my educational background and experience was optimal	7	2	1		
Discussions					
Sufficient time was allocated for the discussions	6	4			
The discussions were useful in my research (interesting, stimulating and practical)	9		1		
Excursion (if applicable)					
The excursion(s) was well organized	3	1	1		
The excursion(s) was educating and helpful for my research	4	1	1		
Lecturers					
Lecturers gave equal treatment to all the participants	8	1	1		
Lecturers respected the ideas, opinions and comments of the participants	8	1	1		
Overall					
I found my participation in the workshop to be meaningful	8	1	1		
I was able to create and expand working networks with other researchers by participating in the workshop	7	2	1		

